

男女共同参画おうみはちまん2030プラン-男女共同参画近江八幡市行動計画-(素案)にかかるパブリックコメント(意見及び回答)

受付番号	項目番号	意見	市の考え方
X	X	<p>該当箇所</p> <p>該当項目</p> <p>意見内容</p>	回答
1	1	<p>P25 9.2030プランの中間評価</p> <p>基本目標Ⅱ 誰もが個性と能力発揮し、活躍できる環境づくり</p> <p>指標 女性が一人もいない審議会 について</p> <p>目標値0件にされていることは期待できる指標に見え達成を信じたいと思います。</p>	達成に向けて、引き続き取り組んでまいります。
	2	<p>P26~27 9.2030プランの中間評価</p> <p>基本目標Ⅲ 誰もが安心して暮らせる仕組みづくり</p> <p>指標 男女間の暴力に関する相談先をひとつも知らない人の割合</p> <p>目標値を0%に掲げるのは好ましいことですが、次回、市民意識調査対象者をランダムに選ぶことを想定すると少し無理があるように思います。数値より実浸透を期待致します。</p> <p>p27(4)の項目は令和3年度行動計画よりも行数を追加して書いてあり両頁を比べるとP26に0%を掲げる気持ちは理解できますが。</p>	市民意識調査結果による基準値から現状値への推移や、県の男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査結果等を踏まえて、より現実的な目標値となるよう、目標値を0%から5%に修正します。
	3	<p>P49 第4章 施策の展開</p> <p>基本目標Ⅲ 誰もが安心して暮らせる仕組みづくり</p> <p>重要課題2 施策の方向②</p> <p>施策・事業47 年齢に応じた健康に対する啓発 について</p> <p>ヘルスリテラシーを追加できないでしょうか。健康に関する情報入手、情報の理解、情報の評価、情報の活用など複数の事を含み、市立市民保健センターが取り組んでおられる事も市民に伝え易いのではないのでしょうか。滋賀県の(仮称)パートナーしがプラン2030(案)P47⑤仕事と健康の両立の項に書かれています。(関連書籍も発行されております)</p>	<p>下記の通り修正します。</p> <p>「～健康、体力づくりの啓発と事業を通して自己管理意識及びヘルスリテラシー※を高めていきます。」</p> <p>また、資料編用語解説にヘルスリテラシーの項目を下記の通り追加します。</p> <p>「ヘルスリテラシー：健康や医療に関する正しい情報を入手し、理解して活用する能力のこと。」</p>

4	<p>P50 第4章 施策の展開 基本目標Ⅳ 共に担い支えあう家庭・地域づくり 現状と課題 7行目</p> <p>希望する女性の受け入れなどがあります。女性だけ受け入れるので しょうか。希望する男性の意向も汲む姿勢が必要に思います。</p>	<p>下記の通り修正します。 「こうした意識と行動の変化をふまえ、地方との関わりを希望する人の受け入れな ど、～」</p>
5	<p>P53 第4章 施策の展開 基本目標Ⅳ 共に担い支えあう家庭・地域づくり 重要課題Ⅰ 施策の方向③ 施策・事業53 介護者支援の充実 3行目から4行目について</p> <p>介護を行う家族の孤立を防ぎレスパイト休暇などの利用を提案支 援し精神的な支えと休息する機会をと加えられないでしょうか。(複 数人の家族を介護した経験から“制度”は言語化、周知され誰でも 知っているようにすると当事者が使いやすいと考えます)</p>	<p>基本目標Ⅳ重要課題Ⅰ施策の方向③説明文を下記の通り修正します。 「性別に関わらず介護者が介護により希望する生き方を諦めるのではなく、両立 していけるよう、レスパイトケア※(休息のための支援)を含む介護者支援や介護 サービスの充実を図り、介護の負担軽減に努めます。また、核家族化の進行等の 社会環境の変化による、地域でのつながりの希薄化が課題となっています。地域 で介護者が孤立しないよう、情報交換の機会づくり等、つながりの場の提供に努 めます。」</p> <p>また、資料編用語解説にレスパイトケアの項目を下記の通り追加します。 「レスパイトケア:レスパイト(respite)とは、「休息」「息抜き」「小休止」という意 味。レスパイトケアとは、在宅介護の要介護状態の方(利用者)が、福祉サービス などを利用している間、介護をしている家族などが一時的に介護から解放され、 休息をとれるようにする支援のこと。」</p>
6	<p>P57 第5章 推進体制 重要課題Ⅰ 施策の方向① 3行目 性差でなく個体差で について</p> <p>令和3年4月プランでも”個体差“という言葉に引っ掛かりを感じて おりましたが代替言語に行き当たらず言語に強い方と話した が、ぴたりと合致する言葉が不明のままです。カタカナ語(ジェ ンダーレスなど)は使うことに抵抗があるかもしれませんが「パート ナーしが2025」では「性別による偏りのない」(PIO. 1行目)とあ ります。初めて出会う言葉はできるだけ分かりやすいように願いま す。</p>	<p>下記のとおり修正します。 「～性差でなく個人差でみた配置や職務分掌の実現をめざします。」</p>

	<p>7 P57 第5章 推進体制 重要課題I 施策の方向④ 施策・事業69 国・県・他市町、関係機関との連携 について</p> <p>国・県（県立男女共同参画センター・G-NET）と明記できないで しょうか。本市に市立男女共同参画センターが設置されないのは県 立があるからです。連携を深め広がる格好の場所の名前を書いて 頂きたいです。</p>	<p>施策内容について、下記の通り修正します。 「国・県（県立男女共同参画センター）及び関係機関との連携に努めるとともに、 他市町との情報交換などを行い、連携を深めます。」</p>
	<p>8 P63 資料編 2. 近江八幡市男女共同参画審議会委員名簿 氏名欄の数字について</p> <p>氏名欄の前の数字がずれているようですが、No.3、No.11に理由が あるのでしょうか</p>	<p>名簿更新時にズレておりました。修正します。</p>
<p>2</p>	<p>1 P33 第4章基本施策の展開 基本目標 I 一人ひとりの人権を尊重する意識づくり 現状と課題 11 行目について</p> <p>以下の文章を挿入する。 更に、男女共同参画施策の展開が進む中、社会の中では殊更男・ 女の違いを強調し、施策は必要なく、事業費は無駄とする主張の顕 在化が見られるようになってきている。 今こそ共生（インクルーシブ）社会の構築が必要であり、この視点 から男女共同参画施策の強力な展開が望まれる。 この為、市民が一人ひとり…</p> <p>（意見の背景） 最近「男は男らしく、女は女らしく 方がいいじゃない!」のフレーズや 国の男女共同参画施策は無駄で不要、その事業の削除を主張す る論調を見聞きする。同和対策事業の展開が進んだ際に、社会に 誤って「逆差別」の論調が蔓延したことを思い浮かべ、これと同じ 事が再来するのではないかと懸念される。</p>	<p>長年続いてきた価値観が変わる際、不安や反発が生じるのは自然な反応ではあ りますが、男女共同参画の進展が停滞・後退すれば、再び性別による固定的な役 割分担が固定化され、個人が主体的に生き方を選択する自由が損なわれます。こ れは女性だけの問題ではなく、過度な責任を負わされてきた男性や、既存の枠組 みに苦しむすべての人にとっての損失です。 本市としては、こうしたバックラッシュに屈することなく、全ての人の人権が守ら れ、一人ひとりが生き生きと輝ける男女共同参画のまち・近江八幡の姿を目指し、 引き続き男女共同参画施策の推進に取り組んでまいります。</p> <p>ご意見を受けまして、P1.「第1章 計画の策定にあたって 1.計画の趣旨・背 景」の4行目に下記の文章を追記します。 「また、男女共同参画施策の展開が進む中で巻き起こる反発・揺り戻し（バック ラッシュ）を乗り越え、誰もが自分らしく主体的に生き方を選べる共生（インクルー シブ）社会を構築するためには、さらなる男女共同参画施策の推進が不可欠で す。」</p> <p>あわせて、資料編用語解説にバックラッシュの項目を下記の通り追加します。 「バックラッシュ：社会的な改革や運動に対する反動・揺り戻しのこと。」</p>